

# 機動・ヤスダ・イセ キJVで本格着工

## インドネシア洪水対策

インドネシアジャカルタ特別州のチウリン川地下放水路建設事業を機動建設工業、ヤスダエンジニアリング、イセキ開発

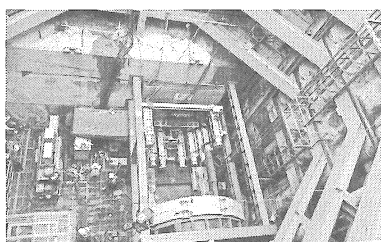
ニアリング、イセキ開発工機JVが受注、ことし3月から工事が本格化している。

同事業は、2013年1月にジャカルタ特別州で大洪水が発生したことを受けて、ユドヨノ大統領が洪水対策事業として急ぎ、事業化を決定した

もの。  
施工する3社は、国土交通省が推進している下水道グローバルセンター（GCUSS）の会員企業。概要は、延長約1300㍍、内径3500㍉の地下放水路を2本整備する

ほか、設計施工計画、施工指導、資機材を提供する。

機動建設工業の西田広治取締役常務執行役員土木本部副本部長は一日



現場の様子

本推進技術協会が発足させたチーム推進工法「ニッポン」で受注できたことに大きな意味がある。インドネシアでは今後市街地での面整備が本格化する。今回の案件を受注拡大への先鞭（せんべん）となるようにしたい」と意気込みを語った。